

平成28年度京田辺市子ども・子育て支援事業計画における重点事業実績調査票

基本目標1 子どもを生み育てる喜びが実感できる環境づくり

施策目標 (1) 母と子の健康づくり支援

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 1 1	妊婦・周産期の母子保健事業の推進	<拡充事業> ○不妊治療費等助成事業 ・不育症 ・男性不妊症	子育て支援	希望者全員	○	一般不妊治療延べ 203人 不育治療 0人 男性不妊治療 0人	一般不妊治療延べ 200人 不育治療延べ 8人 男性不妊治療 0人	一般不妊治療延べ 182人 不育治療延べ 4人 男性不妊治療 0人	一般不妊治療の延べ件数は昨年度より減少したが、1件あたりの助成額は増え、助成額の総額としては大きく変動していない。男性不妊治療の助成に関しては、H28.1.20以降に治療が終了した人は京都府の所管となつたため、事業自体がなくなった状況であり、利用者は0人であった。希望者全員には助成できた。
		○妊婦健康診査費助成事業 妊婦の健康の保持及び進歩を図り、安心・安全な出産ができるよう、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を行うとともに、医学的検査を実施する事業	子育て支援	基本健診14回分、諸検査の費用を助成	○	基本健診14回分、諸検査の費用を助成 妊婦健康診査受診実人数 899人	基本健診14回分、諸検査の費用を助成 妊婦健康診査受診実人数 865人	基本健診14回分、諸検査の費用を助成 妊婦健康診査受診実人数 878人	転入・転出等の影響もあり、妊婦数は増減するものの対象者全員について、助成できた。
		<新規事業> ○産前・産後ホームヘルパー派遣事業 妊産婦が産前・産後の体調不良のため家事や育児を行うことが困難な核家族の家庭などにホームヘルパーを派遣	子育て支援	希望者全員に派遣	○	産後ヘルパー派遣事業 利用者実人数 8人 延べ派遣時間 121.5時間	☆7月から「産前」を拡充 利用者実績 産前2人 延べ派遣時間 175.5時間	利用者実績 産前2人 産後11人 延べ派遣時間 282.5時間	希望者全員に派遣できた。 産前ヘルパーの利用者は2人であるが、現状では從来からの保健師による支援・産後ヘルパーの派遣等で十分フォローできているものと考える。施策数が増えれば支援にも厚みが増すため、引き続き周知に努める。
		<新規事業> ○産後うつ啓発事業 産後うつの啓発やスクリーニングの方法を検討・実施することで、産後うつ病の客観的評価と早期支援を実施	子育て支援	対象者全員実施	△	—	—	—	先進地視察など導入に向け準備しているところであるが、支援対象者の掘り起こしに直結するため、その後のフォローも含め漏れ落ちのないよう体制整備が必要。
1 1 2	乳幼児期の訪問指導の推進	○ここにちは赤ちゃん訪問事業（乳児家庭全戸訪問事業） 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て相談や支援に関する情報提供、養育環境などを把握し支援する (再掲2-3-3)	子育て支援	訪問率 100%	×	対象児 558人 訪問数 531人(里帰りによる他市に依頼含む) 訪問率 95.2%	対象児 538人 訪問数 506人(里帰りによる他市に依頼含む) 訪問率 94.1%	対象児 572人 訪問数 551人(里帰りによる他市に依頼含む) 訪問率 96.3%	訪問率が100%に達しない主な理由は以下のとおり。 ・入院中であること ・訪問予定をしていたが、兄弟の病気等で訪問日の再調整をしているうちに、結局、3ヶ月児健診に来られる方が先になってしまった。 ・長期の里帰りで、里帰り先での家庭訪問をされない。 ※何らかの理由で訪問ができないとしても、全員の状況は把握には努めている。希望者には全員訪問できている。
		○養育支援訪問事業 養育支援が必要な家庭に対し、その居宅を訪問して養育に関する指導・助言などをを行う事業 (再掲2-3-3)	子育て支援	対象者全員実施	○	実訪問件数 85件	実訪問件数 89件	実訪問件数 94件	対象者全員訪問し、必要な指導・助言を行うことができた。
		○ファミリー・サポート・センター事業 乳幼児や小学生などの児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業 (再掲1-3-1)	子育て支援	会員数600人（おねがい会員、まかせて会員、どっちも会員とも）	×	[活動件数] 3,197件 [会員数] おねがい会員333人 まかせて会員107人 どっちも会員 33人 合計 473人	[活動件数] 3,299件 [会員数] おねがい会員376人 まかせて会員116人 どっちも会員 35人 合計 527人	[活動件数] 2,879件 [会員数] おねがい会員416人 まかせて会員119人 どっちも会員 37人 合計 572人	おねがい会員・まかせて会員双方とも会員数は順調に伸びており、31年度には目標達成の見込み。

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 1 3	リフレッシュのための事業促進	<拡充事業> ○一時保育事業 ・保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となつた子どもについて、主として昼間、保育所（園）で一時的に預かる事業 ・河原保育所に一時保育室「ひまわり」を併設。三山木保育所に一時保育を新設 (再掲1-3-4)	子育て支援	三山木保育所に一時保育を新設 希望者全員の受け入れ	×	河原保育所で事業を実施し、年間2,074人が利用した。	三山木保育所に一時保育を設置した。 2か所（河原保育所・三山木保育所）で事業を実施し、年間3,585人が利用した。	2か所（河原保育所・三山木保育所）で事業を実施し、年間3,276人が利用した。	各年度のキャンセル待ちの人数を一日平均で表したものだが、28年度は、キャンセル待ちが発生している。 (キャンセル待ちの状況) 平成26年度 一日平均 1.69人 平成27年度 一日平均 0.24人 平成28年度 一日平均 3.42人
1 1 4	30歳代のための健康づくり応援プロジェクト	<拡充事業> ○いきいき健診（健康診査） 30歳から健康について関心を持ち早期から生活習慣病予防にとりくむことができるよう、30歳代男女を対象に健康診査を実施	健康推進	30歳、35歳（女性） 受診率 22.00% その他、希望者全員実施	○	いきいき健診（女性） 受診者数143人（受診率18.6%）	いきいき健診（女性） 30・35歳女受診者数194人（受診率25.4%）※ 30歳から39歳男女に対象者拡大。 30・35歳女以外受診者数167人（受診率2.2%） 30～39歳男女受診者数361人（受診率4.3%）	いきいき健診 30・35歳女性の受診率は目標を達成でき、昨年度より向上していた。	
		<新規事業> ○健幸もりもりセミナー（健康教育） 30歳代女性を対象に、乳がん検診、骨密度測定を実施し、若い世代に人気のあるヨガやストレッチ、栄養・休養について健康教育を実施	健康推進	参加者数 100人	×	—	参加者数 77人 参加者数 33人	30歳代女性を対象にした健康教室を実施。昨年度教室の内容として含まれていた30歳代の乳がん検診が今年度含まれていないことが大きな原因であると考えられる。また参加者へのアンケートにも乳がん検診をやってほしいという声が多くあった。アンケート内容からは健康教室前後で生活習慣の改善が見られた。	
1 1 5	子どもの発達支援事業	<拡充事業> ○保育所（園）巡回発達相談 臨床心理士と保健師などが各保育所（園）を巡回訪問し、集団観察と保育士への助言を行う	子育て支援	全所（園）で実施	○	公立3保育所	公立3保育所、民間3保育園にて実施 公立3保育所、民間3保育園にて実施	目標が達成できた。 平成27年4月より、子育て支援課に発達相談指導員（非常勤嘱託）を配置し、体制強化が図られている。	

施策目標（2）子育てに係る意識啓発及び情報提供の充実

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 2 1	地域子育て支援拠点事業の推進	<拡充事業> ○地域子育て支援センター事業 ・乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供など援助を行う事業 ・河原保育所・大住保育園に併設。三山木保育所に新設	子育て支援	三山木保育所に地域子育て支援センターを新設	○	地域子育て支援センター（河原・大住） 利用者 園庭開放5,353人 すぐすぐサロン658人 サークル活動のサポート 1,182人	三山木保育所に地域子育て支援センターを新設した。 地域子育て支援センター（三山木・河原・大住） 利用者 施設開放 12,365人 サークル活動のサポート 1,111人	地域子育て支援センター（三山木・河原・大住） 利用者 施設開放 10,699人 すぐすぐサロン 233人 サークル活動のサポート 1,153人	平成27年度に三山木保育所に地域子育て支援センターを新設した。これまで、支援センター事業の利用者増加及び充実を図るため、公民館や住民センター等、出張型で遊び場の提供や相談をおこなう「すぐすぐサロン」を実施していたが、平成27年3月に開設された三山木支援センターの運営が軌道に乗り、市内南部・中部・北部地域におけるそれぞれの観点が確立したことから、すぐすぐサロンを廃止し、各拠点施設における事業を重点的に行うこととした。それに伴い、平成27年度に比べ、支援センターの利用者数が増加した。

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
		○子育てひろば事業 子育てひろば「てふてふ」	子育て支援	実人数の増加	×	利用者延べ 10,865人	利用者延べ 9,573人	利用者延べ 6,364人	平成28年度は2度の施設移転を行い、一時に中央公民館や社会福祉センターでひろばを開設するなどの対応をおこなつたが、物理的な受け入れ許容数の限界もあり、延べ利用者数は昨年度に比べて大幅に減少した。平成29年2月末に現在の施設に移転してからは、利用者数が回復傾向にあるため、平成29年度は平成28年度よりも利用者数の増加が予想される。
1 2 2	相談事業の充実	<拡充事業> ○地域子育て支援センターなどでの子育て相談事業 (再掲 2-1-7、2-3-2)	子育て支援	三山木保育所に地域子育て支援センターを新設	○	地域子育て支援センターなどを子育て相談 電話 60件 来所 7件 事業内実施 85件	地域子育て支援センターなどを子育て相談 電話 19件 来所 2件 事業内実施 118件	地域子育て支援センターを新設し、事業を始めた。 地域子育て支援センターなどを子育て相談 電話 12件 来所 1件 事業内実施 312件	平成27年度に三山木保育所に地域子育て支援センターを新設した。昨年度に比べ、センター事業の際に子育て相談を受ける件数が大幅に增加了。これについては、支援センター利用者数の増加、支援センター職員と利用者間の信頼関係が構築されてきているためと考える。今後も利用者が気軽に相談できる環境づくりに努めることが重要。
1 2 3	乳幼児訪問指導事業の充実	<新規事業> ○地域子育て支援センターでの訪問相談事業 こんちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診などから、支援が必要になりえる親子について訪問を実施し、地域の社会資源の活用につなげる	子育て支援	1か所で実施	○	—	地域子育て支援センター三山木保育所で実施 訪問相談 26件	地域子育て支援センター三山木保育所で実施 訪問相談 3件	平成27年3月より、三山木保育所の地域子育て支援センターが開設されたことに合わせて、同支援センターで訪問相談を開始した。訪問相談件数3件の実人数は2人。平成29年度からは、子育てひろば“てふてふ”においても訪問相談事業を実施する予定。
1 2 4	子育てに係る情報提供体制・方法の充実	<新規事業> ○地域子育て支援センター啓発事業 3か月健診に出向き、地域子育て支援センターの紹介を実施	子育て支援	実施	○	3か月児健診／年／24回 河原・てふてふの当番制で実施	3か月児健診／年／24回 三山木・河原・てふてふの輪番制で実施	3か月児健診／年／24回 三山木・河原・てふてふの輪番制で実施	大住は職員体制の事もあり、参加できなかつたが、三山木・河原及びてふてふの3施設職員が順番に3か月健診に出向き、啓発事業を実施した。その効果もあり、昨年度に比べ、子育て支援センターの利用者数が増加した。
		<新規事業> ○利用者支援事業 教育・保育施設や子育て支援事業などの情報提供及び必要に応じ相談や関係機関との連携を実施	子育て支援	1か所で設置	○	—	子育て支援課窓口で1か所設置。子育て支援事業の集約、情報提供を実施。 相談件数 1,929件	子育て支援課窓口で1か所設置。子育て支援事業の集約、情報提供を実施。 相談件数 2,200件	平成27年度に子育て支援課に利用者支援事業通称「はぐはぐ」を設置し、事業を開始した。昨年度に引き続き、市内の子育て関係行事等を紹介するピックアップ情報紙を毎月発行。季刊紙として“はぐはぐだより”を発行し、積極的に情報発信に取り組んだ。また、利用者支援専門員が積極的に窓口対応を行つたこともあり、昨年度に比べ、相談件数が大幅に增加了。今後は、市内の子育て支援関連施設の情報を把握したり、関係機関とのネットワーク作りを行うなど、専門員のさらなる知識・資質向上が必要と考える。

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 2 5	子育てガイドブック作成	<新規事業> ○子育てガイドブック作成 出産や育児に関する情報や行政サービスなどを紹介するガイドブックを作成	子育て支援	ガイドブックの作成	△	—	—	—	平成28年度から子育てガイドブックの作成を検討（レイアウト等）し、平成29年度に完成を目指している。平成29年度現在、紙面構成等を検討しているところである（例：均等に内容を盛り込むのが良いか、あるいは子育ての実践編など特定の分野に特化するのが良いのかなど）。

施策目標（3）仕事と子育ての両立支援

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 3 1	ファミリー・サポート・センター事業の推進	○ファミリー・サポート・センター事業 乳幼児や小学生などの児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かりなどの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業 (再掲1－1－3)	子育て支援	会員数600人（おねがい会員、まかせて会員、どっちも会員とも）	×	【活動件数】3,197件 【会員数】 おねがい会員333人 まかせて会員107人 どっちも会員 33人 合計 473人	【活動件数】3,299件 【会員数】 おねがい会員376人 まかせて会員116人 どっちも会員 35人 合計 527人	【活動件数】2,879件 【会員数】 おねがい会員416人 まかせて会員119人 どっちも会員 37人 合計 572人	おねがい会員・まかせて会員双方とも会員数は順調に伸びており、31年度には目標達成の見込み。
1 3 2	子育て短期支援事業	○子育て短期支援事業 ・保護者が心身または環境上の理由により児童を養育することが一時的に困難になつた場合、児童の養育を行なうための短期間の施設での預かり事業 ・京都大和の家（精華町）と桃山学園（京都市）で実施	子育て支援	希望者全員の受け入れ	○	平成25年4月からの実施 委託先（児童養護施設及び乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」）に委託契約 利用日数：7人（利用者 1人）	平成25年4月からの実施 委託先（児童養護施設及び乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」）に委託契約 利用日数：7人（利用者 1人）	平成25年4月からの実施 委託先（児童養護施設及び乳児院「大和の家」、児童養護施設「桃山学園」）に委託契約 利用日数：5人（利用者 2人）	利用人数1人の利用日数7日。希望者全員の受け入れができた。この利用者については以前より家庭児童相談室等が支援している家庭で、26年度・27年度と継続して利用している。支援をしていく上で親子の分離が必要と判断される場合において利用しており、利用後は一定の落ち着きをみせている。
1 3 3	放課後児童対策の推進	<拡充事業> ○留守家庭児童会 保護者が就業などにより昼間家庭にいない児童を対象に、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと児童の健全育成を図る事業。平日の放課後のほか、土曜日、夏休みなど ○放課後子どもプラン 児童が放課後を安全で健やかに過ごせる居場所づくりと地域の方々との世代間交流をねらいとして実施 (再掲2－1－4)	社会教育・スポーツ推進	対象学年を6年生まで拡大する 希望者全員の受け入れ	○	ボランティア派遣事業を年79回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた 希望者全員の受け入れができた 613人 17クラス	対象学年を6年生まで拡大し、希望者全員の受け入れができた ボランティア派遣事業を年71回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた 772人 22クラス	ボランティア派遣事業を年61回実施。また、放課後子どもプランと留守家庭児童会が連携し事業実施できた 840人 25クラス	希望者全員の受け入れができた。
	○通常保育事業	子育て支援	希望者全員の受け入れ	○	年間実施日数105日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数 4,616人	年間実施日数106日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数 5,077人	年間実施日数106日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数 5,436人	子どもの参加人数も順調に伸びており、引き続き取り組んでいく。	
					年間14,008人 待機児童ゼロ（4月1日現在）	年間14,588人 待機児童ゼロ（4月1日現在）	年間15,072人 待機児童ゼロ（4月1日現在）	28年度も4月1日現在の待機児童ゼロを達成し、希望者全員の受け入れができたが、毎年、年度途中には待機児童が発生し、途中入所が困難なことが課題。	

No	施策	取組内容	担当課	平成31年度目標	目標達成状況 ○→できた ×→できなかつた △→事業未着手	平成26年度実績数	平成27年度実績数	平成28年度実績数	評価・検証
1 3 4	各種保育サービスの充実	○延長保育事業	子育て支援	希望者全員の受け入れ	○	1日あたり延べ432人が利用した。希望者全員の受け入れができた。 ※延長保育時間「7:30～8:30」「17:00～19:00」	1日あたり延べ364人が利用した。希望者全員の受け入れができた。 ※制度改正により延長保育時間「18:00～19:00」となった。	1日あたり延べ445人が利用した。希望者全員の受け入れができた。	希望者全員の受け入れができた。
		<拡充事業>	子育て支援	三山木保育所に一時保育を新設 希望者全員の受け入れ	×	河原保育所で事業を実施し、年間2,074人が利用した。	三山木保育所に一時保育を設置した。 2か所（河原保育所・三山木保育所）で事業を実施し、年間3,585人が利用した。	2か所（河原保育所・三山木保育所）で事業を実施し、年間3,276人が利用した。	各年度のキャンセル待ちの人数を一日平均で表したものだが、28年度は、キャンセル待ちが発生している。 (キャンセル待ちの状況) 平成26年度 一日平均 1.69人 平成27年度 一日平均 0.24人 平成28年度 一日平均 3.42人
		○一時保育事業 ・保護者が冠婚葬祭や育児疲れなどの理由により、家庭での保育が一時的に困難となった子どもについて、主として昼間、保育所（園）で一時的に預かる事業 ・河原保育所に一時保育室「ひまわり」を併設。三山木保育所に一時保育を新設 (再掲1－1－3)	子育て支援						
		○低年齢児保育（産休明け児童の保育）	子育て支援	希望者全員の受け入れ	○	年間2人	年間6人	年間2人	希望者全員の受け入れができた。
		○民間保育所（園）運営助成	子育て支援	適正な運営補助の実施	○	3つの民間保育所（園）に運営補助金を交付	3つの民間保育所（園）に運営補助金を交付	3つの民間保育所（園）に運営補助金を交付	適正な施設運営のための補助が実施できた。
1 3 5	病児・病後児保育事業	○病児・病後児保育事業 病気中や病気の回復期にあり家庭での保育が困難な乳幼児などについて、看護師・保育士などを配置した医療機関において保育を実施する事業	子育て支援	希望者全員の受け入れ	○	2か所で実施し、延べ945人の利用があった。	2か所で実施し、延べ1,092人の利用があった。	2か所で実施し、延べ1,194人の利用があった。	希望者全員の受け入れができた。 ・浜口キッズクリニック 942人 ・田辺中央病院やすらぎ保育園 252人
1 3 6	幼稚園における預かり保育の充実	<拡充事業> ○市立幼稚園預かり保育事業 通常の教育時間の前後等に園児の保育を実施する事業	学校教育	市立幼稚園全園で実施時間と夏休みなど長期休業期間中の実施	○	1園で実施時間を延長するとともに、夏休みなど長期休業期間中の実施。実施日数、1,034日、延べ利用人数15,785人	全園で実施時間を延長するとともに、夏休みなど長期休業期間中の実施。実施日数、1,867日、延べ利用人数28,473人	全園で実施時間を延長するとともに、夏休みなど長期休業期間中の実施。実施日数、1,879日、延べ利用人数27,980人	全園で開始したこと、利用時間も午後6時まで延長したことにより、利用者の急増に繋がった。